

東京都立大学 法科大学院
2021年度入学者選抜試験問題 (3年履修課程)
出題趣旨

小論文

東京都立大学法科大学院では、複雑な社会現象に高い関心を示し、それを的確に把握したうえで分析・判断するための論理的思考力を有するとともに、それを的確に表現することのできる学生を求めている。

2020年(2021年度入試)に実施した法学者未修選抜では、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書, 2010年) viii頁-28頁を素材として、19世紀の政治思想家であるトクヴィルの「平等化」の概念と現代の世界的な流れの共通点、また現代における「不平等意識」の変化について、筆者の考えを読み解き、それを時間や分量の制約の中で過不足なく自分の言葉で表現できるかを問うた。

以上